



好機到来

先頃行なわれたマイナーチェンジの影響で、メルセデス・ベンツEクラス(タイプ211/210)のサーティファイドカー市場がこれまで以上に賑やかになってきた。その魅力と最新の市況についてお伝えする。



気負うことなく高性能を享受できるスタンダード

もともと、メルセデス・ベンツにとってミディアムクラス(現在のEクラスにあたるモデル)は、同社のラインナップの中でもいづらかカジュアルなテイストを持たされたモデルだったといえよう。Sクラスのような大型サルーンではできなかったステーションワゴンや、トップを切り落としたカブリオレの追加など、ミディアムクラスならではのモデル展開がなされてきた。

それがタイプ210(先代Eクラス)へとバトンタッチすると、徹底的な合理化から生まれた価格のアドバンテージによって、さらにカジュアル路線への加速が強まった。そして、現行モデルのタイプ211にいたっては、ハードとしての洗練度はもちろんのこと、

マーケットコンシャスなサービスレベルさえも抜群に向上し“オシャレな”ブランドとしてのステイタスを磐石なものとしたのである。

2002年から国内に導入されたタイプ211も、すでにサーティファイドカー、すなわちメルセデス・ベンツの認定中古車がマーケットに数多く流



通している。そのうえ、先頃行なわれたフェイスリフトや、ディーゼルモデル(E320 CDI)の追加などで、前期型モデルが多数下取りで在庫するためか、サーティファイドカー市場はさらに熱を帯び始めたといわれ、まさに好機到来といったタイミングだ。今回はその豊富なラインナップの中から、最

上級グレードといえるE55 AMGを選び出し試乗してみた。

いまや、AMGといえどもメルセデス・ベンツ傘下であり、れっきとしたカタログモデル。ひところのチューンドマシンと考えるより、シリーズ最強のパフォーマンスを与えられたトップモデルと捉えるべきだろう。

2005年モデルとなる実車をチェックしてみると、標準モデルとの外観上の差は控えめなエアロパーツや、18インチのホイールが目につくくらい。だが、フロントホイールの隙間から覗く巨大なブレーキキャリパーは、なんと、8ポッドというハイスペックがおごられている。かの有名な“エンジンより速いシャシー”というポリシーはまだまだ健在といったところか。

インテリアに目を向けると、そこかしこに貼り巡らされたブラックアイメーブルのパネルがAMGであることを強調。さらにメーターパネルも専用デザインとなり、これだけでもドライバーの満足度は

Market Information

Eクラス サーフアイドカーのマーケットインフォメーション

メルセデス・ベンツの基幹車種として、またサルーン/ステーションワゴンの世界基準として君臨するEクラス。ここではサーティファイドカーで選べるタイプ211とタイプ210(先代モデル)の相場の目安について紹介していこう。

※実際の販売価格は走行距離やコンディションにより1台ずつ異なるので注意。

取材協力:メルセデス・ベンツ川口 Tel.048-259-3311 ダイムラー・クライスラー日本株式会社



先代4マチックの運転席まわり。メーターがとても見やすいことに加え、視界が極めて良好だから長距離運転もラクこなせる。路面状況を問わない高速ツアー。



外観同様に曲線が多用され、柔らかな印象を受けるE55 AMGの室内。年式は05年(走行距離:0.5万km/車検有効期限:08年5月)、価格は966万円である。

タイプ210はデビューからすでに10年以上の時間が経過しているが、プロポーションがタイプ211と相似形にあるため、今でもそれほど古さを感じない。この車両は01年式 E320 4マチック、つまり希少なフルタイム4WDモデルである。走行距離は5.2万kmで、車検が2年付いて価格は338万円。

高いはず。

E55には、5.5ℓのV8エンジンが搭載され、コンプレッサー(スーパーチャージャー)による過給がなされる。当然、パフォーマンスも並大抵のものではなく最大出力:476ps/6100rpm、最大トルク:71.4mkg/2650~4000rpmという数値!だが、そんなアツいエンジンながら、アイドリングはじつに静粛で、微細な振動すら感じさせない。このあたりに、AMGらしい高精度なマニファクチャリングが読み取れるのと同時に、タイプ211そのものの造りの良さがうかがえる。

さて、E55の真骨頂はアクセルペダルを踏み込まないと始まらない。あえて、乱暴にスタートさせようと試みたのだが、タイヤがスキル音を上げ、トラクションが失われるのはほんの一瞬だけ。すかさず、電子デバイスが介入し、何もなかったか

のようにグリップを回復させて、それこそロケットのような加速が始まるのだ。仕事柄、速いクルマには慣れているつもりだったが、コンプレッサーのダイレクトなトルクの盛り上がりは強烈。ちょっと病みつきになりそうなくらい、魅力的である。

そんな加速を支える足まわりは、新開発のフロント4リンクサスペンション

と、リアはマルチリンクというレイアウト。さらには、電子制御エアサスペンションがいかなる状況下でも、最適な走行安定性をもたらしてくれる。また、ドイツ製コンチネンタルスポーツという、比較的硬質なタイヤとの組み合わせでも乗り心地はさして悪いと感じることはなかった。もちろん、走行中の安定感は抜群で、18インチ、ロープロファイルといったスペックをなんなく履きこなしている。

そして、本格的なテストこそできなかったものの、8ポッドブレーキキャリアによる制動力は素晴らしく、1910kgの車体を見事に受け止めるキャバ



シティを感じさせてくれた。

211も210もチャンス

カジュアルでいて、ユーザーに分かりやすい品質感を徹底的に引き上げたタイプ211は、AMGのようなスペシャルモデルにいたっても、気負うことなくその高性能を享受できる素晴らしいサルーン

であると実感できた。なお、前述のようにハイテクデバイス満載のタイプ211だけに、リコール対策や、メンテナンスがパーフェクトになされているサーティファイドカーがことさらに魅力的だ。

そして、この度の好機はタイプ211を狙っていた人だけでなく、タイプ210狙いのユーザーにも等しく訪れたようだ。つまり、タイプ211のフェイスリフトをきっかけに、先代ユーザーが(前期モデルの)タイプ211サーティファイドカーに乗り換えることによって、市場にタイプ210が増えるということ。

試乗車を借りたメルセデス・ベンツ川口でも、タイプ210の上質なサーティファイドカーが数多く展示され、かなり活性化しているという。すなわち、Eクラスは全般的に今がチャンス!くれぐれもこの好機を逃さぬように

■Eクラス セダン/ステーションワゴン(タイプ211)サーティファイドカー相場の目安 (単位=万円)

	新車時価格	2005	2004	2003	2002
E240	636.3	440~	410~430	390~400	380
E320 AVG	766.5	—	470~490	440~460	430
E350 AVG	777	590~	—	—	—
E500 AVG	942.9	640~	590~620	550~580	530
E240 SW	690.9	500~	460~480	450	—
E320 SW AVG	804.3	—	550~570	540	—
E350 SW AVG	814.8	650~	—	—	—
E500 SW AVG	970.2	690~	650~670	630	—

※AVG:アバンギャルド SW:ステーションワゴン

E350ステーションワゴン アバンギャルドが一番人気。しかしセダンとステーションワゴンの流通比率は7:3で後者のタマ数は少ない。ボディカラーはホワイトとブラックが注目されていて、レザーシート、キセノンヘッドライト、ガラススライディングルーフを備えた車両の引き合いが多い。



E-Class type 210



■Eクラス セダン/ステーションワゴン(タイプ210)サーティファイドカー相場の目安 (単位=万円)

	新車時価格	2002	2001	2000	1999	1998	1997
E230	598.5	—	—	—	—	—	145
E240	609	300	265~285	240~260	205~230	180~195	170
E320 AVG	766.5	380	330~360	295~315	265~285	235~255	190~220
E400 AVG	871.5	—	—	—	—	—	210
E430 AVG	892.5	390	360~370	305~325	275~295	245~265	230
E230 SW	619.5	—	—	—	—	—	175
E240 SW	619.5	330~340	295~315	260~290	225~250	200~215	190
E320 SW AVG	798	420~430	365~395	325~345	295~315	255~275	240
E430 SW AVG	939.75	460~470	405~435	365~385	320~355	310	—

※AVG:アバンギャルド SW:ステーションワゴン

タイプ211同様、6気筒のステーションワゴン(E320 SW AVG)に人気が集まっている。セダン/ステーションワゴンともにシルバーのボディカラーを持つ車両の流通が多いが、人気は白と黒。V8モデルのタマ数はかなり少ない模様。ちなみにセダンとステーションワゴンの流通比率は6:4。